

平成30年度 特別研究推進費実績報告書

2019年 4月 26日

北九州市立大学長 様

(所属・職名) 国際環境工学部 准教授

(氏名) 山崎 進

平成30年度に交付を受けた特別研究推進費に係る研究実績について、次のとおり報告します。

研究課題名	KK-SHIFT：地域イノベーション創出のための研究拠点の形成					
実施内容・研究成果の要旨 (概要書を別途添付)	<p>本研究の研究目標は次の通りであった。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 地域課題の解決に貢献するアプリを数本リリースする</li> <li>2. 関連するオープンソースソフトウェアを数本リリースする</li> <li>3. 共同研究型インターンシップに関する仮説を立証するためのデータを収集・分析する</li> <li>4. (本研究の主眼): 地域課題解決と地域課題に関するイノベーション創出に関心のある学内外の研究者・教育者・企業等を募って共同研究・教育体を組織し、共同研究課程制度の利用の準備をする。</li> </ol> <p>これら各目標をおおむね達成できた。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 地域課題解決アプリを2本発表できた。</li> <li>2. 関連するOSSで研究資金を獲得し国内外で発表した。</li> <li>3. 集団的認知責任という新たな観点を得られた。</li> <li>4. 文理融合を行うナッジ社会実装研究センターを設立した。</li> </ol> <p>次のような波及効果があった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本研究成果を活用して、北方・ひびきの・北九州高専・九工大それぞれでプログラミング演習やゼミ・卒業研究指導などに生かした。</li> <li>・ 関門地区や北九州市内外の共同研究企業を通じて、北九州地域に研究成果を展開した。</li> <li>・ 創業の芽も出て来た。</li> </ul>					
事項	合計	使用内訳 (単位: 千円)				
		備品費	消耗品費	報酬	その他	旅費交通費
交付決定額	679			79	30	570
支出金額	679		37	137	25	480
執行残額			-37	-58	5	90
共同研究者	所属・職名	氏名		役割分担等		
	基盤教育センター/地域創生学群・教授	佐藤 真之		地域創生学群統括		
	地域創生学群・学生	浦田 真衣		アプリ開発プロジェクトリーダー		
	地域創生学群・学生	田中 秀樹		アプリ開発プロジェクトリーダー・関門会議		
	地域創生学群・学生	渡邊 太基		アプリ開発プロジェクトリーダー		
	地域創生学群・学生	角西 美和子		アプリ開発プロジェクトリーダー		
	地域創生学群・学生	平岡 司		アプリ開発プロジェクトリーダー		
	地域創生学群・学生	三戸 美公		アプリ開発プロジェクトリーダー		
	地域創生学群・学生	有馬 弥優		アプリ開発プロジェクトメンバー		
	地域創生学群・学生	島田 碧依		アプリ開発プロジェクトメンバー		
	地域創生学群・学生	藤川 太栄子		アプリ開発プロジェクトメンバー		
	地域創生学群・学生	皆川 果穂		アプリ開発プロジェクトメンバー		
	地域創生学群・学生	山本 愛華		アプリ開発プロジェクトメンバー		
	国際環境工学部・研究補助員	大河 平優子		統括補助・拠点構築補助		
	国際環境工学研究科・学生	岡住 和樹		アプリ開発者・技術指導		
	国際環境工学研究科・学生	藤川 幸太		アプリ開発者・技術指導		
	国際環境工学研究科・学生	松下 央		アプリ開発者・技術指導		
	国際環境工学研究科・学生	村崎 拓也		アプリ開発者・技術指導		
	国際環境工学研究科・学生	酒匂 裕史		アプリ開発者・技術指導		
	国際環境工学研究科・学生	久江 雄尊		アプリ開発者・技術指導		
	国際環境工学部・学生	秋永 詩織		アプリ開発者		
	国際環境工学部・学生	香具 壮		アプリ開発者		
	国際環境工学部・学生	富野 幹汰		アプリ開発プロジェクトリーダー・関門会議		
	国際環境工学部・学生	高山 愛帆		アプリ開発者		
北九州工業高等専門学校・准教授	松久 保潤		北九州高専統括・技術指導・関門会議			
北九州工業高等専門学校・講師	福田 龍樹		北九州高専統括補助・技術指導			
九州工業大学学習教育センター・助教	近藤 秀樹		教育工学的分析			